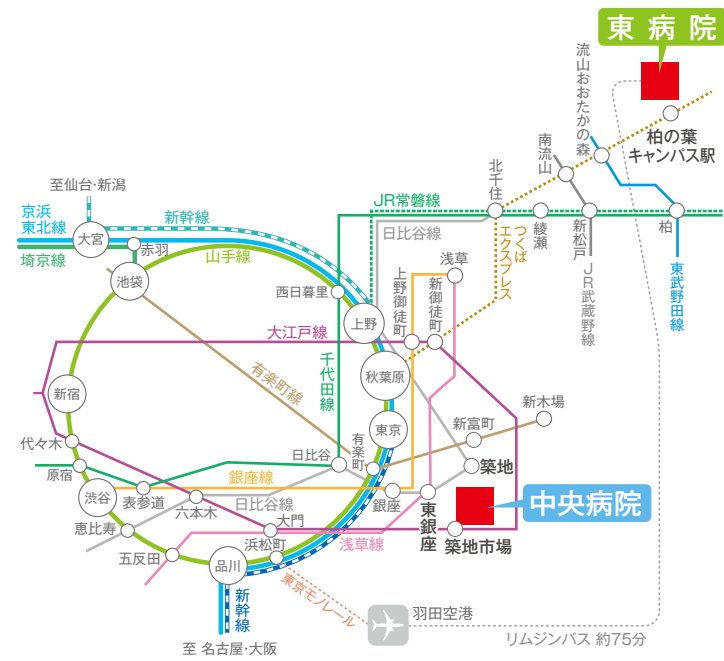


ROUTE MAP



- | | |
|------|---|
| 中央病院 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 都営地下鉄 大江戸線「築地市場駅」A3番出口から徒歩約1分 ◎ 東京メトロ 日比谷線「築地駅」2番出口から徒歩約5分 ◎ 都営地下鉄 浅草線「東銀座駅」6番出口から徒歩約5分 ◎ 東京メトロ 有楽町線「新富町駅」4番出口から徒歩約10分 |
| 東病院 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」西口から <ul style="list-style-type: none"> ・ 東武バス「流山おおたかの森駅東口」行、
「江戸川台駅東口(国立がん研究センター経由)」行、
「東大西」行 約6分「国立がん研究センター」下車 ・ タクシー 約4分 ◎ JR常磐線・東京メトロ千代田線・東武野田線「柏駅」西口から <ul style="list-style-type: none"> ・ 東武バス「国立がん研究センター」行 約30分 ・ タクシー 約20分 ◎ 羽田空港リムジンバス「柏駅西口」行「国立がん研究センター」下車 |



共に考え、共に歩む。



National Cancer Center

国立がん研究センター 中央病院

National Cancer Center Hospital

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 tel.03-3542-2511 (代)

国立がん研究センター 東病院

National Cancer Center Hospital East

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1 tel.04-7133-1111 (代)

国がん中央 看護部

www.ncc.go.jp/jp/nccch/division/nursing/index.html

国がん東 看護部

www.ncc.go.jp/jp/nccce/professional/nursing/index.html

◎ 中央病院を選んだ理由を教えてください。

最先端のがん治療の現場で
質の高い看護を提供する先輩の姿に憧れ
一緒に働きたいと思いました。



私のご案内します！



中央病院
National Cancer Center
Hospital

山崎 彩葉
上智大学卒
2016年入職
小児腫瘍科病棟

小児科病棟での実習を体験し、最先端のがん治療の現場で、患者さんに寄り添い、質の高い看護を提供する先輩の姿に憧れ、当院に入職を決めました。私が働く小児腫瘍科病棟には、自分の思いやつらさをうまく伝えられない患者さんがいます。少しでも苦痛を軽減し、緊張を和らげて穏やかな入院生活ができるようにするのも私たち看護師の大事な仕事です。患者さんの表情やしぐさの変化から異変に気づき、患者さんの気持ちに寄り添える、先輩たちのような看護師に早くなれるように、日々努力しています。私がケアした高校生の患者さんが、「私も看護師になりたい」と言ってくれたときは本当にうれしかったです。将来的には、もっと勉強し、認定資格の取得を目指したいです。

◎ 東病院を選んだ理由を教えてください。

アットホームで和やかな雰囲気
チームの団結力の強さに魅力を感じ
ここで働きたいと思いました。



私のご案内します！



東病院
National Cancer Center
Hospital East

山名 香奈子
国立看護大学校卒
2016年入職
頭頸科病棟

入職前に参加した実習で、先輩たちが優しく、何でも質問しやすいアットホームな雰囲気に魅力を感じました。医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ職種などさまざまな職種が集まり、対等な関係で連携する質の高いチーム医療に参加できるのも東病院の魅力です。頭頸科病棟は、口腔がん、喉頭・咽頭がんなどの手術によって、食べたり話したりするために必要な機能を失った患者さんが多い病棟です。先輩たちにいろいろ教えてもらいながら、患者さんの気持ちの落ち込みを軽減し、少しでも食べる機能を回復するためのサポートをできるよう心がけています。いまは毎日精一杯ですが、将来は緩和ケアについても学びたいと思っています。



国立がん研究センター 中央病院

National Cancer Center Hospital

看護理念

患者のニーズを大切にした
最良のがん看護を創造し、提供する

基本方針

1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重した看護の実践
2. 科学的根拠に基づいた看護の実践
3. がん看護の将来を見据えた専門教育
4. がん看護の研究と創造
5. 国内外に向けたがん看護の情報発信

病院概要

開設年: 1962年
 病床数: 578床
 職員数: 約1,400名
 看護師数: 580名

診療科

脳脊髄腫瘍科	内視鏡科	総合内科・歯科・がん救急科
眼腫瘍科	消化管内視鏡	総合内科
頭頸部腫瘍科	呼吸器内視鏡	歯科
形成外科	肝胆膵外科	がん救急科
乳腺外科	肝胆膵内科	麻酔・集中治療科
乳腺・腫瘍内科	泌尿器・後腹膜腫瘍科	緩和医療科
呼吸器外科	婦人腫瘍科	精神腫瘍科
呼吸器内科	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	放射線診断科
食道外科	皮膚腫瘍科	放射線治療科
胃外科	血液腫瘍科	病理科・臨床検査科
大腸外科	造血幹細胞移植科	病理科
消化管内科	小児腫瘍科	臨床検査科
	小児腫瘍外科	先端医療科(早期・探索臨床研究センター)

看護体制

[看護単位] 一般病棟15看護単位、ICU、手術室、中央材料室、外来2看護単位、通院治療センター、患者サポート研究開発センター

[勤務体制] 二交替制、三交替制(ICUのみ)

[看護配置] 7:1

[看護方式] 固定チームナーシング・モジュール型継続受持

看護支援システム

- ① 完全電子カルテシステム
- ② 勤務管理システム
- ③ 物品管理システム
- ④ PHS連動型ナースコールシステム
- ⑤ 搬送システム



エントランス



手術室



ナースステーション



患者サポート研究開発センター

Novel, Challenge and Change

革新への挑戦と変革

All Activities for Cancer Patients

職員の全ての活動はがん患者のために!



社会と協働し全ての国民に 最適のがん医療を提供する

1961年に設立された国立がんセンターは、わが国のがん対策のけん引役として、その役割を果たしてきました。2010年には厚生労働省直轄の組織から独立行政法人に移管されて独立行政法人国立がん研究センターとなり、さらに2015年には、国立研究開発法人国立がん研究センターと名称を変更して、より高度な専門医療を担うべく治療の研究開発に取り組んでいます。その最先端の活動は、わが国のみならず、世界から関心が寄せられています。

“職員の全ての活動はがん患者のために!”というスローガンに、国立がん研究センターで働く職員の思いが込められています。一人一人の患者にとって、最良の看護を行うこと。それが私たちの願いであり、使命です。

がん看護の現場から 看護師としての道をはじめるといこと

がんの治療は多様で経過が長期にわたるため、患者は日々の暮らし方からどのような治療を行うかまで、葛藤と選択を繰り返します。

看護師には、患者に寄り添い、見守るだけでなく、患者の心や価値観に向き合い、サポートする力が求められます。あらゆる行動は、揺らぐことのない、知識や技術、コミュニケーション力、倫理観などに裏打ちされていなくてはなりません。

それはあらゆる看護の現場で必要とされる力であり、看護師として歩む上で大きな力となります。

看護師としての一步を、がん看護の現場から踏み出してみませんか?

国立がん研究センター 東 病 院

National Cancer Center Hospital East

看護理念

がんの最先端医療を担う
チームの一員として役割を果たし、
がん看護の発展に努める

基本方針

1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、信頼関係を大切に安らぎのある看護を提供する
2. 看護の本質を追究し、科学的・創造的な看護を実践する
3. 臨床研究を推進し、がん看護の新たな情報を発信する
4. がん看護のリーダーとして活躍する人材を育成する

■ 病院概要

開設年: 1992年7月
病床数: 425床
職員数: 約1,030名
看護師数: 480名

■ 診療科

頭頸部外科	乳腺・腫瘍内科	脳神経外科
頭頸部内科	乳腺外科	皮膚科
形成外科	泌尿器・後腹膜腫瘍科	婦人科
消化管内科	血液腫瘍科	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科
肝胆膵内科	消化管内視鏡科	歯科
食道外科	放射線診断科	眼科
肝胆膵外科	放射線治療科	小児腫瘍科
大腸外科	緩和医療科	先端医療科
呼吸器内科	精神腫瘍科	遺伝子診療科
呼吸器外科	麻酔・集中治療科	病理診断科

■ 看護体制

【看護単位】 一般病棟9看護単位、緩和ケア病棟手術室、中央材料室、外来、通院治療センター

【勤務体制】 二交替制

【看護配置】 7:1

【看護方式】 固定チームナーシング・受け持ち看護師制

■ 看護支援システム

- ① 完全電子カルテシステム
- ② 勤務管理システム
- ③ 物品管理システム
- ④ PHS連動型ナースコールシステム
- ⑤ 搬送システム



エントランス



緩和ケア病棟デイルーム



ナースステーション



リハビリテーションルーム

がん医療・研究をリードする

国立がん研究センターを支える3つの柱



□最先端医療

世界最高水準のがん医療とがん看護を提供

国立がん研究センターは、手術療法、化学療法、放射線療法、内視鏡治療など、世界のがん医療の最先端治療を提供し、わが国のがん医療をリードしています。常に世界最高のがん医療を追い求めつつ、エビデンスと経験に基づいた治療やケアを行う医師や看護師とともに、最先端で質の高い看護技術と知識を身につけ、経験を積むことができます。がんに関する政策提言も当センターの重要な役割であり、看護部もその一翼を担っています。

□研究・開発

日本発の医薬品・医療機器の開発を推進

当センターは、国際水準の質の高い臨床研究や難病などの医師主導治験を推進する臨床研究中核病院に指定されており、日本発の革新的な医薬品・医療機器を開発するための早期臨床試験やゲノム医療の臨床応用などを積極的に実施しています。患者の苦痛を軽減するがん看護、支持療法などの研究・開発も、当センターの重要な使命です。最先端のがん看護現場で働きながら、新たな治療や看護の研究・開発に関わることができます。

□教育

日本のがん医療・看護をけん引する人材を育成

全国から広く医療従事者を受け入れ、日本のがん医療・看護をけん引する人材を育成するのも当センターの使命の一つです。また、各地域のがん医療の中心となるがん診療連携拠点病院に対して専門的な技術研修を実施し、がん医療の均てん化に努めています。東病院では、緩和ケア、がん化学療法看護の認定看護師教育課程を開設しており、同教育課程で専門的な知識と看護技術を取得した認定看護師が全国で活躍しています。

専門家チームで多角的に患者をサポート

チーム一丸となった治療・看護が日常的に行われるなか、特徴のあるチームを紹介します。



東病院のサポートケアセンター

患者サポート研究開発センター サポートケアセンター

初診時から患者・家族の治療と生活を支援

看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士、リハビリ職種、医師などが連携して患者・家族の相談に応じ、治療と療養が円滑に進むように、精神的、社会的な課題も含めてサポートするセンターです。サポートセンターの看護師は、患者・家族の苦痛の軽減に努めるとともに、初診時、がんの診断時などにスクリーニングを行って、早い段階で、必要な支援につなげる役割を担っています。



手術前のサポートを行う周術期患者管理チーム

周術期患者管理チーム

高リスクの患者への手術準備外来を実施

侵襲の大きい手術を受ける方や合併症のある方、高齢者など、周術期のリスクが高い患者を対象に、安心して手術が受けられる環境づくりを行うチームです。看護師、麻酔科医、歯科医、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、精神科医、糖尿病専門医などが連携しています。チームのコーディネーター役でもある看護師が、手術準備外来で病歴や周術期のリスク要因の確認、手術のオリエンテーションを行い、退院後の生活の準備ができるようにサポートしています。



緩和ケアチームによるラウンド

緩和支援療法チーム

早期からの緩和ケアで苦痛を軽減

緩和ケア医、精神科医、がん専門看護師、リエゾン看護師、緩和ケア認定看護師、薬剤師などが連携して、がんと告知されたときから治療前・中・後、終末期の身体的、精神的、社会的な苦痛を取り除く緩和ケアや支持療法を行っています。特に高齢の患者に対しては、看護師が入院前にせん妄のリスクに対するスクリーニングを行い、患者・家族にそのリスクと対処法を説明することも重要になりつつあります。

RST(呼吸サポートチーム)

人工呼吸器の離脱と早期回復を後押し

医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士が連携して、人工呼吸器の適切な管理や呼吸ケアを行うチーム(RST)です。主に、人工呼吸器を装着している患者を定期的に回診し、ミーティングを重ねつつ、人工呼吸器の離脱と早期回復が図れるようにケアしています。看護師は、患者を尊重し回復後まで見据えたケアがなされているか確認するとともに、チームの調整役も果たしています。



RSTによる回診

治験

画期的な新薬や医療機器の開発に貢献

当センターでは、世界で初めてヒトに投与を行うファースト・イン・ヒューマン試験をはじめとした治験を多数実施しています。世界同時承認を目指す国際共同治験も多く、ドラッグ・ラグの解消にも貢献しています。医師、薬剤師、臨床研究コーディネーター(CRC)などと連携して投与管理やバイタルサインチェックを行い、被験者の安全を守る看護師の役割は大きく、新薬を社会に送り出す醍醐味があります。



治験の説明を行うCRC

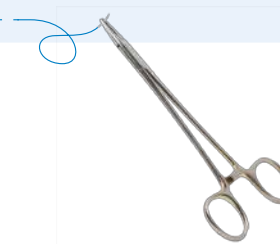
希少がんセンター

まれながんの治療・支援の開発

希少がんセンターでは、人口10万人当たり6人未満と、まれながんに対する最新、最適な治療・看護の提供に力を入れています。看護師による電話相談「希少がんホットライン」で全国の患者・家族の相談に応じ、当センターで治療中の患者に対しては多職種のチームで支援しています。特に、学業の継続、就労、妊よう性の温存などさまざまな問題に直面するAYA世代(15~39歳)の看護・支援方法の開発、政策提言も進めています。



寄せ書き入りでAYA世代に渡す治療終了証書



一瞬一瞬の積み重ねが、1日、1年の成長につながる

● 新人看護師 森戸円香さんのある1日



森戸 円香
中央病院 11A病棟
栃県立衛生福祉高等学校卒
2016年入職

08:00

寮を出て隣接する病棟に出勤

中央病院の場合、寮は院の敷地内にあるため、家を出てから出勤まではあつという間。でも、病棟に一步入れば、仕事スイッチが入ります。

08:30

準備をして患者さんの情報を収集

受け持ちの患者さんの疾患や、今日行う治療のこと、採血データ、点滴についてなど、さまざまな確認事項から1日は始まります。



08:45

「申し送り」で看護師同士が情報を共有

「申し送り」とは看護師同士の情報共有のこと。勉強会が開催されることや、薬の名称に変更があったことなど、重要な情報が共有されます。また夜勤の看護師から患者さんの夜の様子を共有します。

09:00

点滴や薬の準備など日勤勤務が始動

9時になると、看護師たちはそれぞれの持ち場について各自の仕事を進めていきます。治験病棟に勤務する私は、点滴をつかったり、内服の治験薬の準備にかかります。



14:00

医師とのカンファレンスは情報共有と勉強の時間

医師と看護師が一堂に会するカンファレンス。最近、変化のあった患者さんや、精神面でサポートが必要な患者さんへの対応、退院についてご家族と何を相談するかなど、重要な情報を共有します。私の病棟では、2チーム体制で看護にあたるため、他チームの患者さんの状況を知り、学べる機会でもあります。

12:30

患者さんの様子を確認。新人はだいたい5~6人受け持ちます。患者さんによっては検査が追加になることもあるので、午後に向けて記録を見直します。



11:30

職員に人気の食堂で同僚とランチ

11時半~13時半の間に順番にランチ。私は休憩室で食べることが多いです。院内にコンビニもありますが、なるべくお弁当をつくるようにしています。今日は19階の職員用食堂へ。バイキング形式で、おいしくて野菜もたっぷりなので、人気があります。



14:30

検温の時間は患者さんとの対話を大切に

1日4回、検温にまわります。どのような症状があるか、食事はできているか、薬の効果はどうかなど、アセスメントを行います。ここで患者さんとコミュニケーションをとり、信頼関係を築けるよう努めています。また、患者さんの体を拭いたり、着替えをしたりするケアは、日々先輩から学ぶことが多いです。

16:00

翌日の検査や治療の予定などを電子カルテを用いて確認。医師からの情報をもとに、患者さんに説明するためのオリエンテーション用紙をつくる際は、できるだけわかりやすくなるよう心がけます。



17:15

日勤から夜勤へバトンタッチし今日の勤務が終了

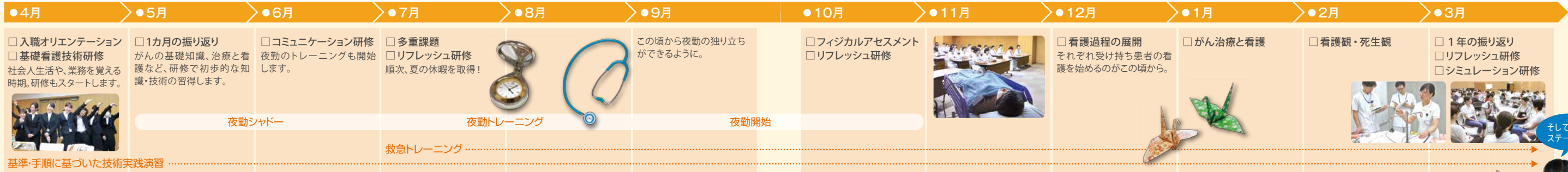
日勤から夜勤への申し送りをし、患者さんの情報を記録したら、今日の勤務は終了です。



帰宅後は、今日あったことの復習や、明日の受け持ちについての予習などを行うのが日課。気づいたこと、先輩看護師から指導されたところなどをノートにまとめます。私は書かないと覚えられないので、この時間はとても大切ですね。



中央病院・東病院 入職後1年間の流れ



看護師としての多様なあり方や キャリアアップを支援する研修制度



目指す姿に応じた支援があります。

□ 大学院進学

大学院進学者向けの休職制度があり、学業・研究支援を行っています。休職中に給与の一部が支給される制度もあります。

□ 海外研修

がん看護専門プログラムを受講し、病院実習が可能な語学力があれば、海外のがん専門病院などでの研修に参加できます。

□ 院外研修

認定看護師教育課程、実習指導者講習会など、院外で研鑽を積む研修への参加を積極的にバックアップしています。

□ 研究支援

看護部には研究支援チームがあり、新たながん看護・支持療法などの研究がスムーズに進められるよう支援しています。

キャリアアップ支援制度を活用した先輩にお話を伺いました



飯田 郁実
中央病院
がん看護専門看護師
日本赤十字看護大学
大学院卒
2004年入職

進学によりがん看護の重要性を再認識

呼吸器外科・内科／食道外科病棟、血液腫瘍科・骨軟部腫瘍科病棟で約8年働いた後、休職制度を利用して、母校の大学院の専門看護師(CNS)コースで2年間学びました。実は、その前には、治癒が望めなくなっても治療を続ける患者さんに、自分には何ができるのか悩み、燃え尽きそうになっていました。しかし、一度臨床から離れ、研究として入院中の患者さんの聞き取り調査などを行うことで、患者さんの話を聞いてつらさに寄り添う、がん看護の重要性を再認識できました。大学院修了後に職場に復帰しましたが、その後長女を出産。1年間の育児休業を経て現在は通院治療センターで働いています。大学院進学、在学中の研究、出産・育児も職場全体で応援してくれる中央病院に就職してよかったと思います。がん看護専門看護師になったばかりですが、患者さんのニーズをいち早くキャッチし、外来、入院、在宅と切れ目のないケアを受ける橋渡しをする役割を担っていかれたらと考えています。



平野 勇太
東病院
東京大学大学院在学中
山口大学卒
2009年入職

大学院での研究でがん看護の充実を目指す

就職先として東病院を選んだのは、がん看護を専門にしたかったこと、大学院進学などキャリアアップ支援の制度が充実していたからです。2年前には海外研修制度を利用し、米国のメイヨークリニックで研修を受けました。そして、現在は研究休職制度を利用し、大学院でがん看護専門看護師を目指して勉強しています。海外研修では実際に米国の看護体制を見ることができ、日本の現状と比較することで、日本の看護体制の良い点や課題に気付くことができました。大学院では治療前と同じような身体活動量をがんの治療後も維持するために、どのような支援が必要かを明らかにすることに興味を持ち、研究を進めています。東病院には経験豊富な先輩方が多くいらっしゃいます。そうした方々から海外研修や大学院の進学時には準備や勉強法など多くの助言をいただき、大変心強かったです。東病院の仲間と一緒に、皆さんもがん看護の向上を目指す仲間になってもらえたらと思います。

子育てをしながら働くための さまざまなサポート体制



石川 みはる

東病院 治療病棟
国立看護大学校研究課程部
看護学研究科(大学院)卒
2007年入職



未来の治療を創作し社会へ貢献できる仕事と育児を両立

現在3歳になる長女の子育てをしながら治療病棟のリーダー、コアナースとして働いています。1年2カ月の育児休暇を取り、最初は、週3日・1日5時間の短時間勤務で、もともと働いていた治療病棟に復帰しました。いまは週5日・1日6時間45分勤務しています。平日は6時に起床してお弁当をつくり、子どもを近くの保育園に預け、8時半から集中して仕事をし、夕方保育園へ迎えに行って17時ごろ帰宅するという毎日です。

治療病棟は、分刻みのスケジュールの中で投薬やバイタルサイ

ンチェックをしたりしなければならない緊張感の高い職場ですが、最先端の現場で未来の標準治療をつくるために貢献できる仕事に、やりがいを感じています。当センターでは育児支援体制が充実しており、子育て支援ミーティングに参加したときには、子育てと仕事を両立させてがんばれる仲間との出会いに励まされました。母という役割を得たことで、患者さんへの深い共感と細やかな生活支援ができるようになったと感じます。日々成長する子どもの姿に、自分も負けてはいられないと仕事をがんばることができます。

働きやすい職場づくりのための充実した支援

育児時間・育児短時間

「育児短時間」は小学校3年生以下の子どもを育てている職員を対象に、週19時間25分～24時間35分の短時間勤務を認める制度。「育児時間」は未就学児を養育する職員に勤務時間の短縮を認める制度です。勤務時間は、基本的に本人の希望で選ぶことができます。当センターには、育児休業制度やこれらの制度を利用し、子育てをしながら責任のある仕事を任せたり認定資格を取得したりしている先輩看護師が大勢います。



子育て支援ミーティング

子育てをしながら働くママ看護師、妊娠中や育児休業中の看護師が集まって、子育ての悩みを共有したり、先輩ママ看護師の話の聞いたり、情報交換などができる子育て支援ミーティングが年2～3回開催されています。ミーティングには、各病棟の看護師長なども参加し、職場全体で育児中の看護師を支援する体制づくりを行っています。ミーティングで先輩ママ看護師に励まされ、仕事復帰への一歩を踏み出した看護師も少なくありません。



24時間対応 院内保育園

中央病院、東病院には24時間対応の院内保育園が併設され、0歳～6歳児の保育を行っています。職場に隣接しているので子どもの具合が悪いときにはすぐに様子を見に行けて安心です。職員の子どもならいつでも入園可能で、看護師が常駐しているのも心強いところです。





手術室

原 優美香

国立看護大学校卒 2016年入職

**勉強したことをすぐに生かせる職場で
患者さんの代弁者の役割も果たす**

中央病院を選んだのは、実習で職場の雰囲気がよく、教育体制が充実していると感じたからです。手術室はチーム医療の重要性を体感できる職場です。まだ新人ですが、乳腺外科や呼吸器外科などの短い手術から、肝胆膵外科のような長い手術まで、外科医に器具を手渡す「器械出し」を任せてもらえるようになってきました。勉強したことをすぐに患者さんのために生かせる毎日は楽しく、やりがいがあります。患者さんの様子を観察し介助を行う「外回り」をする際には、麻酔で眠っている患者さんの代弁者として、無理な姿勢による痛みやしびれが残らないよう注意しています。がんの早期から末期まで、いろいろな病期の患者さんを見られる看護師になれるよう経験を重ねたいです。

中央病院の看護師に話を聞いてみました！



**患者さん一人一人との出会いが学びの場
課題解決を目指し、よりよい看護を探求**

呼吸器・食道外科・頭頸部腫瘍科は、手術、放射線治療、化学療法を受けている患者さんが混在し、学びの多い職場です。特に、頭頸部のがんで手術や放射線治療を受けた患者さんは、顔や首に傷や色素沈着が生じることが多く、外見の変化に苦しみQOLが低下しています。現在の看護では、そういった患者さんに対するケアが確立されていない部分があるので、研究代表者として、同じ病棟の看護師と一緒に患者さんのニーズと苦悩に対する看護研究に取り組んでいます。中央病院では、最先端の治療を行う現場にしながら、よりよい看護の追求にも取り組めます。今後は、がん看護専門看護師を目指し、さらに看護を深めていきたいです。

呼吸器・食道外科・頭頸部腫瘍科病棟



安川 弘平

神戸市看護大学卒 2014年入職

**認定看護師のサポートを受けながらケアを工夫
先輩看護師のようになりたいと学ぶ日々**

私の働く消化管内科病棟は、胃がん、食道がん、大腸がんなどの化学療法を受ける方が入院する病棟です。同じ病棟にがん化学療法看護認定看護師がおり、常に専門的な知識を得ることができます。化学療法のために繰り返し入院する患者さんが多いので、先輩に教えてもらいながら、前回出た副作用を少しでも軽減できるように考えてケアすることにやりがいを感じています。高齢で認知症や糖尿病など疾患を持っている方も多く、がん以外の病気のことも学ぶ必要があります。そんな中、なにより心強いのは、チーム内のどの先輩にも相談できる環境が整っていることです。早く自立して、忙しくても笑顔で教えてくれる先輩たちのようになりたいです。

消化管内科病棟



榎 真実

青森県立保健大学卒 2016年入職

**患者さんの意思決定をサポートし
痛みやつらさを軽減する看護師の役割は大きい**

サポートセンターでは、診断前や告知直後から通院中、退院後、終末期まで、切れ目のない支援体制を整えています。精神的・身体的な痛みやつらさを軽減するためのケアはもちろん、治療に進むまでの意思決定をサポートするなど、がん医療における看護師の果たす役割は非常に大きいと実感し、やりがいを感じています。以前は造血幹細胞移植科病棟で働いていました。移植に特化した科は当院の特色で、患者さんが感染予防のセルフケア能力を高められるよう入院前から関わり、退院後、副作用とつきあいながら自分らしく生きられるようフォローするなど看護師が関わる範囲が大きい分野です。当院には自主的な勉強会もあり、知識と経験を深められる環境が整っています。

患者サポート研究開発センター



藤井 恵美

看護師長・がん化学療法看護認定看護師
聖隷学園浜松衛生短期大学卒 1991年入職



個室病棟

志村 歩美

国立看護大学校卒 2016年入職

じっくり患者さんに向き合える職場 感謝の言葉にやりがいを実感

東病院で実習を経験し、病院全体が温かい雰囲気だと感じ、その一員になりたいと思いました。私が働く個室病棟はあらゆる科の患者さんが入院する病棟で、疾患や受けている治療によってケアが異なることも多いため、覚えなければいけない知識や技術がたくさんあります。毎日が勉強ですが、その分学べることも多く、じっくり患者さんに向き合った看護ができます。患者さんやご家族に、「あなたのケアで調子がよくなったわ」「ありがとう」などと声をかけてもらえたときには疲れが吹き飛び、看護師になって本当によかったと実感します。認定看護師資格の取得や大学院進学も視野に入れてスキルアップを図り、チーム医療に貢献できる看護師になりたいです。

東病院の看護師に話を聞いてみました！



手術室



福士 亜里紗

茨城県きぬ看護専門学校卒 2015年入職

目標は手術室の看護師だった母 NEXT棟で先進的な手術を行うチームの一員に

将来的には緩和ケア病棟で働きたいと考え東病院に就職しましたが、まずは解剖と生理を勉強するために手術室での勤務を志望しました。目標は、手術室の看護師として働いていた母です。緊張している患者さんに声をかけ、ときには手を握って、安心して手術を受けられるよう支援しています。2017年5月オープンしたNEXT(次世代外科・内視鏡治療開発センター)棟では、知識と技術を高め、ロボット手術など先進的な手術チームの一員に加わって、患者さんに安全な手術を提供したいです。将来は、出産をしたり、緩和ケア認定看護師の資格を取得したりできればと考えています。夢を叶えている先輩がたくさんいるのでビジョンを描きやすい職場です。

院内外での研修でスキルアップを図り 皮膚・排泄ケア認定看護師を目指す

看護師になって5年目。病棟の中堅になり、新人や実習生の教育に力を入れています。それまでできなかったことができるようになるなど、後輩の成長を感じられたときは本当にうれしいです。外部の実習指導者講習会にも参加し、指導者としての心構えや効果的な指導法を学びました。リーダーシップ、問題解決技法の習得など、中堅看護師向けの院内研修も充実しています。教育に関わるためにも、副部長になるための幹部看護師任用候補者試験の合格、そして、皮膚・排泄ケア認定看護師資格取得を目指しスキルアップを図る予定です。父ががんになったときに支えてもらった当院で、患者さんとご家族を仲間と共に支え看護師として成長し続けたいです。

消化器外科・内科病棟



真下 綾子

目白大学卒 2012年入職

緩和ケア病棟だけではなく、一般病棟にも 活躍の場が広がる緩和ケア認定看護師

緩和ケア病棟で7年働いた後、当院に併設された緩和ケア認定看護師養成課程に9カ月間通い、認定資格を取得しました。現在は、肝胆膵外科・内科、胃外科、大腸外科、泌尿器科の患者さんが入院する病棟で働いています。術前、術後に痛みや不安を抱えていたり、「治癒が望めない」と告知されながらも、治療を続けている患者さんなど、全人的な痛みの緩和が必要な患者さんは一般病棟にも多くいらっしゃいます。多職種と連携をとり、患者さんの苦痛の軽減や意思決定支援など緩和ケア認定看護師の役割は大きいです。養成課程は仕事を続けながら通え、知識をすぐに実践に結びつけられます。あきらめずに緩和ケア認定看護師を目指す先輩が増えてほしいと思います。

消化器外科・内科／泌尿器科病棟



村田 長子

緩和ケア認定看護師
国立病院機構岩国医療センター附属岩国看護学校卒
2002年入職

私のオフタイムを
公開します



山崎 彩葉
小児腫瘍科病棟
上智大学卒
2016年入職

病院に隣接した宿舎の立地は抜群 仕事後に銀座で気分転換することも



都営地下鉄の駅が目の前

19階建ての職員宿舎は病院に隣接していて便利です。セキュリティもしっかりしていて安心です。銀座が近いので、日勤の後や休日には、飲みに行ったり少し豪華なランチを楽しんだり気軽に気分転換ができます。また、都営地下鉄の駅が目の前なので、どこへ行くにも便利です。休日は病院併設の職員用図書館で勉強をしたり、ときには買い物や映画、カラオケ、ライブに行くなど、満喫しています。

同期との交流が励みに

働き始めて間もないこともあり、なにより励みになっているのが、同じ宿舎に住む同期との交流です。食事を持ち寄りたり宅配ピザを頼んだりして、誰かの部屋に集まり、情報交換しています。他の病棟で働く同期の話は参考になりますし、悩みを分かち合いおしゃべりして発散することで、また明日からがんばろうと思えます。

先輩たちのようにキャリアアップを図りながら、やりがいの大きい看護師の仕事を続けていきたいです。

食もおしゃれも文化も何でも揃う華やいだ街

Area Map [近隣情報]

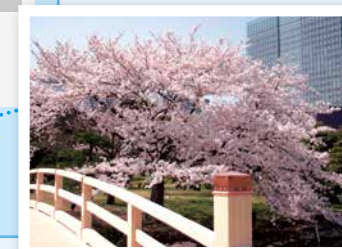
新旧の文化が融合し、都会でありながら大人の雰囲気のある街に建つ中央病院。遊びや食事、ショッピングなどを楽しめる銀座・築地エリアにあり、職場と都会の生活を無理なく行き来することができる贅沢な立地です。



銀座四丁目交差点



築地市場場外



浜離宮恩賜庭園の桜

福利厚生

- 休暇制度：年次有給休暇、夏季休暇、慶弔休暇、産前・産後休暇、育児休業、介護休業など
- 社会保険：厚生労働省第二共済組合
- 職員食堂：眺めのよいレストランと職員食堂あり
職員食堂はビュッフェ形式でメニューが毎日変わります。
- 保育施設：24時間保育が可能
- 職員宿舎：鉄筋コンクリート(RC構造)ワンルーム型
冷暖房完備・オートロック・管理人常駐
- 図書館：蔵書数：約80,000冊・看護系雑誌：19誌
- ユニフォーム貸与：白衣・ナースシューズ
- 育児支援：産前・産後休暇、育児休業のほか、育児のための短時間勤務など、働きながら子育てを応援する支援制度を整えています。



職員宿舎



保育園



職員食堂



図書館

私のオフタイムを公開します



山名 香奈子
頭頸科病棟
国立看護大学卒
2016年入職

緑が多くゆったりとした環境 駅もショッピングセンターも近くて便利です



暮らしやすい街で自炊も難しく継続

寮は病院からは徒歩20分くらいで、柏の葉キャンパス駅や「ららぽーと柏の葉」のすぐ近くにあり。まだ新しく、一軒家のようなおしゃれな建物で、自分の部屋に帰るととても落ち着きます。周囲には緑が多くゆったりとした雰囲気なものに入っています。一人暮らしは初めてですが、健康のためにがんばって自炊をし、日勤の日はお弁当をつくって持参しています。病院と寮の間にスーパーもあるので食材や日用品の買い物も便利です。

同期と先輩に恵まれ幸せな毎日

休日の楽しみは、同期や大学の友達と会うこと。いまだという看護をし、どんな勉強をしているのかお互いの状況を話したり、悩みを語って励まされたり励ましたり、いつも話がつかえません。同じ寮にも同期がたくさんいて楽しいです。東病院には、とても優しく、尊敬できる先輩がいっぱいいます。私ももっと知識と技術を磨き、何でも教えられる先輩になれたらと思います。

緑豊かな公園と大型商業施設を有した学術都市

Area Map [近隣情報]

総合競技場や植物園などを備えた県立柏の葉公園が広がる緑豊かな街です。自転車やバスなどで少し足を延ばせば、ショッピングモールやデパートなど便利な施設が数多く揃っています。秋葉原や東京まで電車で約30分とアクセスが良いのも魅力です。



福利厚生

- 休暇制度：年次有給休暇、夏季休暇、慶弔休暇、産前・産後休暇、育児休業、介護休業など
- 社会保険：厚生労働省第二共済組合
- 職員食堂：眺めのよいレストランと職員食堂があります。
- 保育施設：24時間保育が可能
- 職員宿舎：鉄筋コンクリート(RC構造)・冷暖房完備
院内 ワンルーム型
院外 新築・バス・トイレ独立型
宿舎を希望して入寮できます。
- 図書館：蔵書数約70,000冊、看護系雑誌16誌
- ユニフォーム貸与：白衣・ナースシューズ
- 育児支援：産前・産後休暇、育児休業のほか、育児のための短時間勤務など、働きながら子育てを応援する支援制度を整えています。



職員宿舎



保育園



図書室



教育研修棟